

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	教職教育研究センター
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

○2009年度からの目標

1. 教職課程履修者への指導・相談体制を強化（KSCとの格差是正を含む）するために、教職員の増員等を含んだ具体的施策を推進する。
2. 教育委員会等との連携により、教育研究活動の活性化を図る。
3. 同窓教員との連携強化を図るために、同窓教員対象の「教職研究会」を主催・共催するとともに、同窓教員を対象としたSNS（social networking service）を拡充していく。

○指標

1. 学生相談室を中心とした教職課程全般にわたる学生支援の強化。スクールサポーター、スクールボランティア、スクールインターンシップ等へ参加する学生支援のための事前・事後指導の実施。教員採用試験に向けての学生支援（「教職勉強会」への教員の関わりの強化）。専任教職員の配属によるKSCにおける学生支援活動の充実。
2. 連携協定を結んでいる教育委員会等との共同研究の推進。国及び地方自治体の要請に応じたセンター教員の派遣。教員免許更新講習、教職10年経験者研修の実施。受託研究員の受け入れ。
3. 高弦会（兵庫県高等学校同窓教員の会）、関学教師の会（高弦会を含む、校種、地域を問わない同窓教員の会）等の同窓教員組織との連携強化。同窓教員を対象とした研究会の充実（現在は年6回開催しているが、これを年8回開催に増やす）。同窓教員を対象としたSNSの拡充（現在は参加者数10名であるが、これを200名に増やす）。